



例会日/毎週木曜日 12:30
 例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111
 事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
 TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722
 e-mail office@n-heisei.org
<http://www.n-heisei.org/>

第1296回例会 平成29年3月16日(木)

- 本日の例会プログラム ゲスト卓話「中津支援学校の就労支援について」
 大分県立中津支援学校 進路支援部主任・高等部教諭 岩田謙次朗氏
- ◎次回例会プログラム 夜間例会
 親睦 クラブ協議会



前回(1295回例会)の記録 平成29年3月9日(木)

<p>■ゲスト</p> <p>中津市 社会教育課文化財室室長 高崎章子氏</p> <p>■ビジター</p> <p>なし</p>	<p>■出席報告</p> <p>会員数 24名 免除者数 4名 対象者数 20名 本日出席者 14名 欠席者数 6名 出席率 70.00%</p>
---	--

■1294回出席報告の修正
 1294回欠席者 8名
 メイクアップ 1名
 欠席者 7名
 修正出席率 61.90% → **66.67%**

●メイクアップ
 足立会員(2/28中津中央RC)

●欠席者
 土居会員、小野会員、宇都宮会員、初倉会員、仲本会員
 矢頭会員、川田会員

◎ロータリーソング 我らの生業

◎会長の時間 会長野会長

先週は急用でお休みさせていただき、申し訳ありませんでした。その急用については後ほどのニコニコの時にお話しさせていただきます。



先週の例会は黒瀬次年度会長のPETS報告ということでした。次年度も動き出し、会長職に終わりが見えてきました。会長職をやってみて、やっとロータリーに興味湧いた気がします。でも、会長の時間に何を話して良いのかと思うのは相変わらずです。

今日はロータリークラブという言葉ネットを調べてみました。「NEVARまとめ」というサイトがあるのですが、ロータリークラブのことを良くまとめて書いています。ロータリーの歴史、理念、活動指針など、そこらのクラブのホームページより見やすいのではないのでしょうか？

ロータリーも変わっていきます。私達のクラブのホームページも少し遊び心のあるページにし、クラブ自体も楽しくしていきます。

◎幹事報告 黒瀬幹事

●例会変更

中津中央RC→3/21(火) 18:30～花見例会、津久見RC、日出RC

●週報受理 津久見RC、加古川平成RC、熊本平成RC、仙台平成RC、八代RC

●幹事報告

- ・ロータリーの友3月号
- ・会員増強のためのアンケート調査
- ・RI2720地区2017-2018年度地区資金予算書(案)
- ・竹田ロータリークラブ創立60周年記念式典のご案内
- ・人吉ロータリークラブ創立60周年記念式典のご案内



◎ニコニコボックス 担当：奉仕プロジェクト委員会

【若松会員】インフルエンザにかかってから体重が4kg減りました。しかし一週間でリバウンドしてしまいました。本日、早退します。すみません。

【黒瀬幹事】花粉症に悩まされて30年経ちました。現在、様々な症状を発症しています。5月の連休まで、3か月間つらい日々です。

〔長野会長〕先週は欠席しました。取引先の社長の葬儀でしたが、私と同じ年、48歳でした。

〔中島会員〕私も花粉症に悩まされていますが、先週愛媛に行っていました。愛媛滞在中は大丈夫でした。愛媛方面は今、花粉が少ないみたいです。トイレで足長蜂に遭遇し、私の膝にとまりました。何とか大事に至らずに済みました。

〔永松会員〕私は花粉症ではありませんが、最近体調が変わったと実感することがあります。どうも霊を感じるようになったみたいです。

〔宇都宮会員〕私も花粉症です。会社の前の内科医院で薬をもらっていますが、耳鼻科に行くより患者さんが空いていて直ぐに対処してもらえます。

◎ゲスト卓話

「中津市の文化財について」

中津市 社会教育課文化財室室長 高崎章子氏



“馬溪翁”と呼ばれた男 平田吉胤

○耶馬溪大観光時代

明治30年（1897）中津駅が開業

明治45年耶馬溪鉄道会社設立。

大正2年4月起工、12月中津－樋田間が開通、営業開始。

大正3年2月、樋田－柿坂間着工、12月開通。

大正5年5月、日本新三景に選ばれる。

大正8年、菊池寛が「恩讐の彼方に」発表

大正9年10月、羅漢寺橋竣工

大正12年3月7日、耶馬溪が国指定名勝に

大正12年3月、耶馬溪橋竣工

大正12年10月、馬溪橋竣工

大正13年6月、守実まで開通。

大正14年8月、城井駅を平田駅に改称。

昭和4年8月、軌道の幅を全線拡幅。

全国に「○○耶馬溪」が誕生。



★★この時代に活躍したのが「平田吉胤氏」★★

慶応2年、宇佐に誕生、後に平田家へ養子へ

明治25年、平田家を継ぐ。

明治35年、村会議員に当選し、昭和12年死去するまで36年間継続

明治36年、下毛郡会議員に当選

明治40年、大分県会議員に当選

明治42年、豊前銀行取締役役に就任

大正14年、貴族院議員に当選

昭和2年、民政党大分県支部長となる。

昭和4年、耶馬溪鉄道株式会社社長に就任。

昭和12年、死去

・城井橋、馬溪橋、早瀬橋等の架設

・村道の開通

・学校移転、新築

・国有原野払下げをなし部落有とする

・杉檜の村共有造林の大事業を起こす

・水路を引き、土地を開墾

- ・橋の底に水路をとりつけた水路橋をつくり灌漑の問題を解消
- ・城井駅開設（吉胤にちなみ平田駅に改称）
- ・耶馬溪鉄道全線軌道拡幅なる
- ・寺社の再興（久福寺、羅漢寺、城井神社）

★★耶馬溪の価値を世間に広めたスポークスマン★★

○平田邸



平成28年11月、国登録有形文化財に答申される。

時の政治家や政財界、文化人が訪れる、耶馬溪の迎賓館的な存在。

【吉胤と交流のあった人々】

貴族院議員：徳川家達、若槻禮次郎ほか

学 者：国府犀東（漢学者）、脇水鉄五郎（地質学者）、竹内亮（農学者）ほか

文 人：田山花袋、徳田秋声

画 人：小杉放菴ほか

昭和2年、新聞社の行った国民投票で「日本新八景」「日本二十五勝」「日本百景」（耶馬溪）の選定。

昭和6年に新たに国立公園法制定。

昭和9年、耶馬溪を阿蘇国立公園として指定するかどうかの調査が入った。

昭和9年12月4日指定の「阿蘇国立公園」の区域に、耶馬溪はいれられなかった。

昭和12年、平田吉胤死去

（平田吉胤氏は昭和12年に亡くなりますが、氏の想いは引き継がれます。）

昭和23年6月30日、アメリカ合衆国国立公園局職員が平田邸を訪問

昭和24年、国立公園法が改正され、国立公園に準ずる自然の風景地を国定公園として指定されることとなる。

昭和25年7月29日、「耶馬日田英彦山国定公園」に指定される。

「今の耶馬溪をつくりあげたここにしかない物語」が、よそには真似できない魅力となり、未来の耶馬溪をささえます。平田吉胤氏は耶馬溪の魅力を知りつくし、その価値を守り未来へ伝える行動をおこした人で、平田邸はその舞台であり、吉胤の耶馬溪への“おもい”が形になった邸宅です。

